

アナログプレイヤーの比較試聴(12)

—モーツアルトを聴く(12)—

1. 始めに

前報(11)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回は木管3重奏曲集です。

エラート REM-1006-RE

モーツアルト 木管3重奏第1番～第5番

ピエール・ピエルロ (オーボエ)

ジャック・ランスロ (クラリネット)

ポール・オンニュ (バスーン)

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由 of LINN LP-12 と Grrad401 では、RIAA、逆相、第4時定数 Mid で聴いていきます。

ThorenTD124 の再生では、モノラル録音盤ですが、軽快で躍動的なアンサンブル of 雰囲気がよく出ています。

LINN LP-12 の再生では、モノラル録音 of 割には、これらの軽快な曲がクリアな音質で三つの木管 of 音の質感もよく聴き取れます。

Grrad401 の再生では、LINN LP-12 の再生に似ていて、軽快で躍動的な音ですが、オーボエ of 音が太目になります。

4. まとめ

3機種3様 of 再生パフォーマンスが確認できましたが、モノラル録音盤ですが、これまでにないクリアな音質が聴き取れます。

以上